

# こんにちは 和田あき子です

## 県民文化委員会

新型コロナウイルス感染症によって家計が急変したことで退学することなどないよう私立学校の児童生徒の授業料軽減について、高校で31人、小中学校で15人の想定人数を超えた場合でも、必要な世帯への支援を行うことを求めました。

また、県立大学は7月までオンライン授業になるが、全員の学習が保障されているか。今年度の学費の軽減を求めました。パソコン・タブレットなど必要な学生への対応はされている。学費の軽減は検討と答弁。

## 健康福祉委員会

6月補正予算に、新型コロナウイルス感染症患者を受け入れるために確保した病床の空床確保料13億円。施設・設備整備等の院内感染防止の経費への支援56億円。医療従事者への慰労金等68億円は医療関係者の声に応えた予算です。しかし、県の要請に協力している病院で一ヶ月1億円の赤字など深刻な事態になっているため、県として病院・診療所の実態把握と財政支援を求めました。

また、医療従事者や社会福祉施設などの職員慰労金の申請と交付がもれなく迅速に実施できるよう、人員体制を拡充するのか質しました。国の詳細を確認し実施すると答弁。

## 本会議



## 補正予算案——早期議決分の質疑

議会開会日に採決が求められた早期議決分の予算案に対して、共産党県議団を代表して質疑しました。6月県議会に提案された補正予算案は648億8千万円余で、新型コロナウイルス感染症対応予算は612億2700万円と95%を占めています。早期議決分63億9565万7千円は、着実に県内経済の再生、県民生活を支えるために活用されることを願い質疑をしました。

## 意見書——<電源立地地域対策交付金の交付期間延長を求める意見書(案)> 反対討論

電源立地地域対策交付金は、発電用施設周辺地域において公共施設整備、地域住民の福祉向上、地域活性化事業等ソフト事業などにもちいられ、財政基盤の脆弱な自治体の貴重な財源である一方、原発の集中立地につながるものとなっていることを指摘し、すでに役割は果たしたと交付期限の延長に反対しました。

## 梅雨前線停滞による水害 ——市内の現地調査

梅雨前線の停滞がもたらした豪雨により各地で甚大な災害がおきているなか、山口県議と長野市議団と共に市内各地を調査し、建設事務所などに対応を要望しました。



▲水位が上昇する犀川上下流を視察

◀19号台風で欠損した岡田川堤防の工事個所で越水を防ぐ応急対策を求めました

▼長野市西山方面・篠ノ井の土砂崩落現地へ



## 大岡の山村留学について懇談

豊かな自然と北アルプスが一望できる長野市大岡では、大岡村時代から24年間にわたって都会の子どもたちを受け入れ、地域の子どもたちと一緒に小中学校で学びつ山村留学が行われています。



大岡ひじり学園 右から黒沢・野々村市議、和田

山村留学の取り組みなど大岡ひじり学園で懇談しました。

